

授業科目 相談援助各論 IV

【担当教員名】 豊田 保		対象学年	3	対象学科	社会	
		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		態度		
◎		◎		◎		
【一般目標：GI0】 相談援助の様々な実践モデルを理解する。 スーパービジョンとコンサルテーションについて理解する。						
【行動目標：SBO】 相談援助における治療モデル、生活モデル、ストレンクスモデルを把握する。 相談援助における心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチを把握する。 相談援助における危機介入アプローチ、行動変容アプローチ、エンパワメントアプローチを把握する。 スーパービジョンについて把握する。 コンサルテーションについて把握する。 ケースカンファレンスの方法について把握する。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	治療モデル					講義による学習（以下、同じ）
2	生活モデル					
3	ストレンクスモデル					
4	心理社会的アプローチ					
5	機能的アプローチ					
6	問題解決アプローチ					
7	課題中心アプローチ					
8	危機介入アプローチ					
9	行動変容アプローチ					
10	エンパワメントアプローチ					
11	スーパービジョンの意義と目的、方法					
12	コンサルテーションの意義と目的、方法					
13	ケースカンファレンスの意義と目的、方法					
14	相談援助における個人情報の保護					
15	まとめ					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座 8 相談援助 の理論と方法 II	白澤政和、福山和女、米本 秀仁	中央法規出版	2012・2,600円＋税	
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 期末試験またはレポートによる			【履修上の留意点】 教科書を個人で読了すること			